

杉戸町 スポーツ協だより

第 38 号

発行/杉戸町スポーツ協会・広報委員会/杉戸町清地2-9-29

「新時代、スポーツの価値を育む」



杉戸町スポーツ協会
会長
古谷 松雄

新年あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。また、昨年も町当局はじめ会員の皆様並びに各競技団体の方々には、本協会の運営や各種事業等に多大なるご理解・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスは未だ収束には至らず、スポーツ界にも影響を及ぼし

「スポーツ With コロナ」



杉戸町教育委員会
教育長
伊藤美由紀

明けましておめでとうござい
ます。

皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。また、日頃より杉戸町の生涯スポーツ振興に多大なるご尽力を賜り、この場をお借りいたしまして心から御礼を申し上げます。

てはいるものの、徐々に様々な行動制限が緩和され、今後、スポーツ分野においても活発な活動が再開されていくものと期待しております。

当協会では昨年一昨年と、様々な大会・事業等が中止となる中、参加者やスタッフの安全確保を最優先としながらも大会等競技の場や町民の皆様との運動機会を確保すべく、「どうしたらできるか？まずはやってみよう！」という信念で、各種事業を企画立案してまいりました。結果として、種目によっては中止せざるを得ないものもありましたが、当協会として数々の事業を実施出来たことは関係者から歓迎され、特に青少年を中心にスポーツに接する機会を確保

さて、新型コロナウイルス感染症は未だ収束には至らず、私たちの日常生活やスポーツ活動にも影響を及ぼしてはいるものの、「Withコロナ」という新たな時代の中で、活動制限はありますが、これまで培ってきた感染症対策を講じながら、少しずつスポーツ活動が再開されております。

そのような中、昨年10月、「町民体育祭」を刷新した試験的イベント「杉戸町スポーツフェスティバル2022」が国体記念運動広場で開催され、のべ1,800名の方々にご参加いただきました。この企画は杉戸町スポーツ協会、杉

できたことは、成果のひとつとして認識しております。

そのような中、当協会所属の杉戸ジュニアソフトテニススポーツ少年団(杉戸町ソフトテニス連盟)が7月、第39回全日本小学生ソフトテニス選手権大会予選会で上位入賞し、全国大会出場を果たしました。また、昌平高等学校サッカー部(杉戸町サッカー協会)が11月、第101回全国高校サッカー選手権大会埼玉県大会で2年ぶり6回目の優勝、同校女子陸上競技部(杉戸町陸上競技協会)が11月、第34回全国高等学校女子駅伝競走大会県予選で2年ぶり4回目の優勝で、全国大会出場を果たしました。

その他、町内在住・在学・在勤の方々や学校部活動では、バレーボール・ラグビー・野球・水泳・ダンス等で優秀な成績を収めており、様々な競技で多くの選手たちが活躍された年でもありました。

戸町スポーツ少年団、杉戸町スポーツ推進委員連絡協議会、NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブ「すぎスポ」ら町内のスポーツ団体のご協力のもと、「町民体育祭」の課題を見直し、時勢に応じたものとしてリニューアルいたしました。今回は、各団体が趣向を凝らした10ブース(約20コーナー)を展開し、様々な年代の方が自分のペースで様々なスポーツ体験ブースを巡り、スタンプラリーを楽しみながら、スポーツに興味を持っていただくことができました。コロナ禍、試験的開催ということで縮小開催となりましたが、今後、新型コロナウイルス感染症状況を注視しながら、さらに規模を拡大していきたいと考えております。

また、新型コロナウイルス感染

コロナ禍を経て人々の生活様式や意識も変容しましたが、当協会では、「After コロナ」With「コロナ」という新時代の中で、改めて「スポーツ」という価値を大切に育みながら、スポーツ活動を通して町民の健康づくりや青少年の健全育成、そして、スポーツアスリートとして大輪の花を咲かせられるよう、引き続き、その育成・支援に努めてまいります。

結びに、少子高齢社会の急速な進展など刻々と変化するこれからの時代、解決すべき課題は決して少なくはありませんが、本年もスポーツを通じて杉戸町が元気になりますよう、所属団体の皆様のご協力とご支援とご協力をお願い申し上げます。町民の皆様のご健勝と新型コロナウイルス感染症が一日でも早く収束に向かうことを心から祈念いたしまして、新春のあいさつとさせていただきます。

症により、スポーツを取り巻く環境が大きく変化しており、健康増進や趣味などそれぞれの価値観でスポーツをすることへのニーズが高くなってまいります。先の見えないう状況ではありますが、町民の皆様の安全・安心を最優先に考え、スポーツ協会の皆様のお力添えをいただきながら、可能な限りスポーツに親しむ機会を確保していきたくと考えております。

結びに、本年も杉戸町スポーツ協会の益々のご発展と皆様のご活躍をご祈念いたしますとともに、杉戸町におけるスポーツ活動の更なる振興のために変わらぬお力添えとご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

加盟傘下団体紹介

(順不同)

杉戸町スポーツ少年団

本部長 大塚 国夫

第七波と云われる新型コロナウイルスの感染者が減って、久しぶりに大会が始まりました。野球・サッカー・ソフトテニス、団員が活き活きと走る。野球のバットの快音と、サッカーボールを蹴る音と、ソフトテニスのボールを打つ音、見ている人の心に響く。

待ちに待った試合、子どももって試合が好きですよね。練習であまり走らなかつた子が、目の色を変えて走る。頑張れ、頑張れ、頑張れ、頑張れ、何か自分に言っているような気もする。

令和4年9月4日(日)杉戸町立南テニスコートで杉戸町スポーツ大会(体協祭)ソフトテニス小学生の部が行われました。東京都・神奈川県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県からの参加もあり、大変盛り上りました。6年生ともなると、ラリーの応酬有り、コートバックライ

ンからのカット打ち有り、それを走り込んで取りカットで前に落とす、又それを取りに猛然と走り込んでいく。ハラハラドキドキの連続でした。年々技術が向上して選手も大変だなと思いました。これからスポーツをしたいと思っ

ている小学生のみなさん、勝つとうれしいですが、勝つだけではありませんよ、スポーツをすると、楽しくなります。6年生まで頑張ると、みんな上手になります。スポーツ少年団には、素晴らしい指導者がいっぱいいます。団員の仲間も応援してください。友達をいっぱいつ

カー・野球・バレーボール・ソフトテニス・剣道・体操の各部会があります。入団を、お待ちしております。



杉戸町剣道連盟

会長 川崎 淳志

2022年度は、3年ぶりに杉戸町スポーツ大会をひとりの感染者もなく無事開催することができました。少なからず日常が戻ってきたように感じられます。「日常の有難さ、大切さ」を痛感します。この場を借りて大会関係者の皆様にお礼申し上げます。

そこで、「日常の稽古(修行)」について考えてみたいと思います。柳生流には「三磨(さんま)の習い」という言葉があります。剣道修行の順序を「習い・稽古・工夫」の三段階に分ける、という考え方です。この訓えは、一般的にも「守・破・離」の表現で伝えられています。剣道には、初め基礎基本を正しく習い、それを大いに鍛錬し、その訓えを脱して個性を加え新しい境地に入る、この三段階があるという意味です。いたずらに勝利にこだわ

ることを厳しく戒めています。「離」の境地に達するためには、正しく基礎基本を学び、血のにじむ稽古に徹しなければならぬということです。「耳の痛い訓え」ですが、我々指導者は少しでもこの境地に近づくために子どもたちと稽古を続けています。稽古を続けることで、子どもたちがこの「訓え」を少しでも感じ取ってくれば幸いです。杉戸町剣道連盟は、四つの団体により構成されています。うれしいことに、2022年度より昌平中学剣道部が加入してくれました。団体名と主な活動場所は、杉戸西剣友会(高野台小学校)、杉戸警察署ひまわり少年剣道教室(杉戸警察署・コロナ禍により活動休止中)、杉戸中学剣道部及び昌平中学剣道部です。



例年の活動内容は、杉戸町スポーツ大会、他団体との交流大会、スポーツ少年団大会などの各種大会、一級までの昇級審査会など幅広く活動しております。初心者大歓迎です。一緒に剣道を始めてみませんか。

**ママさん
バレーボール連盟**
会長 田沼 統子

新型コロナウイルス感染症の流行から3年、感染予防を徹底しながら、徐々にはありますが、活動の場が戻ってきました。

対外的な試合に参加することはできませんでしたが、杉戸町では情勢を見極めながら小規模ですが、年2回の大会を開催することができました。

練習できない期間があり、思うようにプレーができず、もどかしい気持ちもありますが、皆が集まり共にプレーできたことが、何より嬉しくバレーボールをしていて本当に良かったと改めて感じました。

話は杉戸町から世界に変わりますが、昨年は4年に一度の世界バレーが開催されました。世界バレーでは女子チームが実に40年振りにブラジルに勝利しました。怪我をしたエースが試合に出られないという状況のなか、一人ひとり

が自身の力を発揮し、皆のためにプレーする、その力が一体となって更に素晴らしいプレーとなる、これこそチームプレーの醍醐味だと感動しました。

この感動を分かち合うべく、ママさんバレーボール連盟では共に汗を流す仲間を募集しています。学生さんからシニアの方、ママさんバレーとは名ばかりで老若男女は問いません。もちろん初心者の方も大歓迎です。ぜひお待ちしております。



杉戸町サッカー協会
会長 白石 猛

2022年、一つのクラブが創立50年を迎えました。当協会に所属する杉戸クラブ（通称杉クラ）です。杉戸中学校サッカー部OBが中心となり、サッカーを愛する同好の士を募って持ち上げたのが1972年。とうとう半世紀50年が過ぎました。

「サッカーを通して良き仲間作りを」

「良きサッカープレーヤーであるより良きサッカーマンであれ」

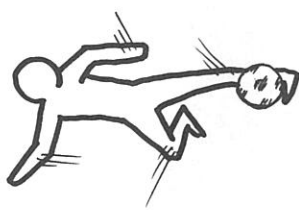
当時のメンバーが小・中学校の時代にお世話になった先生方からの言葉でした。今もそれをチームのモットーに地道に活動を続けています。かつて現役で動いていた選手はOBチームを結成してサッカーを楽しむ、またある者は地域の少年サッカーの指導者として活躍し、まさに生涯スポーツそのものです。これからも地域に根ざしたサッカーを追い求めていくそうです。やは

りチームは続けること、存続させることが一番です。

さて、世界中がコロナに振り回されてまもなく3年。みんな少しずつ日常を取り戻しつつあるようですが、以前のような生活は難しいかも知れません。その中で2022年は4年に一度のW杯イヤー。日本代表は7大会連続で本戦出場を決めました。この拙稿が世の中に出る頃にはすでに結果が明らかになっており、サッカー界は次の4年後に向けて動き出していることでしょう。ただ世界情勢が非常に不透明な昨今、人々はどこをめざすのでしょうか。

私達杉戸町サッカー協会はサッカーというスポーツを通して地域に貢献し、一人ひとりの生活に潤いをもたらすことが出来ればと考えて、地道な活動を続けてきています。ブラジルのとある町の広場で、目の前に転がってきたボールを蹴り返してあげたら、何とそのボールがまた返ってきました。それを再び蹴り返して…。そこに言葉は必要ありませんでした。ボー

ル一個で友達になれるのです。これはブラジルでの話ですが、さすがサッカー王国。さあみなさんも気軽にボール一つで友達になりませんか。サッカー協会ではいくつかのボールを蹴る場を提供しています。自分もと思われた方、連絡をお待ちしています。



杉戸町空手道連盟

会長 荒川 尊祐

当連盟は、「公益財団法人全日本空手道連盟」傘下の埼玉県空手道連盟に所属している団体です。会員は幼年から70代のシニアと幅広く、皆で心地良い汗を流しています。主な活動として、秋の杉戸町スポーツ大会（体協祭）空手道大会、そして1月の北葛飾郡空手道大会です。昨年の体協祭の開催に当たっては、コロナ対策のため入場制限をしつつ、エントリー者全員の試合を行うのに、大変苦労しました。試合では活き活きとした選手の姿が見られ、苦労したかいがありました。北葛飾郡大会は、大会開催直前に苦渋の選択を行い、開催中止といたしました。次年度も、二つの大会開催に向け準備をしています。その他の大会として、国体の埼玉県代表を決める埼玉県大会にも参加しております。昨年度は県大会において、当連盟より3名の入賞者が出ました。その中の1名

は、東京都武道館で開催される全国大会へ出場となりました。空手は武道であり、礼儀と相手を思いやる気持ちを、大切に致します。相手を思いやる心は、「礼に始まり礼に終わり」です。相手を尊重し、感謝の気持ちを持つての行動です。空手道は、相手を思いやる心を育てる、「人間形成」としての教育でもあり、心地良い汗を流せるスポーツでもあります。稽古は自分の体力目標に合わせて、心地よい汗が流せる様、アシスト致します。汗を流しつつ伝統武道を重んじ、稽古の中から相手を思いやる心を育てます。みなさま是非、心身のリフレッシュの一つとして空手を始めてみませんか。

道場紹介・問合せ

松濤禅心館代表 澤井 雅史

☎ 0480-3813638

白水修養館代表 荒川 尊祐

☎ 0480-3317204



杉戸町ソフトボール協会

会長 鈴木 政幸

令和4年の杉戸町ソフトボール協会は、全13チーム・総勢287名の会員登録がありました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により3チームの休会を余儀なくされ、また感染拡大防止対策により制約が多い中での活動

に、選手並びに役員の皆様にご尽力いただきましたことに感謝を申し上げます。一方で杉戸町と宮代町の親睦大会が3年振りに開催したという、明るい兆しがありました。

今後も安全な運営に努めていきたいと思っております。皆様方には引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

さて、多くの方が学校の授業などで経験したりテレビで観戦したりと、ソフトボールの認識はあると思いますが、いったいどうやって生まれたのか、この場をお借りして少し触れたいと思います。

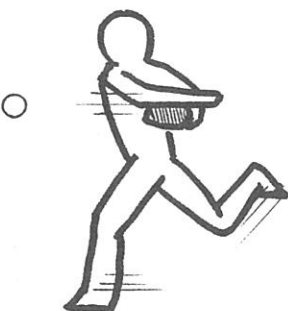
12から13世紀にイギリスで行われた「クリケット」が

起源であるといわれています。その後、アメリカに伝わりベースボールを基に考案され、そして19世紀末にベースボールの冬季の練習用スポーツとして行われたものが始まりといわれています。そのため当時は、インドアベースボールやプレーグラウンドボールなどと呼ばれていました。

そして、1926年にコロラド州アマチュア・ソフトボール協会が設立されたのを機に「ソフトボール」の名称が広がっていきました。1934年に統一ルールも作られ、年齢や性別に関わらずプレーしやすいスポーツとして普及していきました。

ちなみに日本には、1921年にアメリカ留学から帰国した大谷武一教授が学校体操科の遊戯として紹介したといわれ、1927年に正式に学校体育の種目に採用されています。

ソフトボールの歴史に触れ少しは興味を持たれた方、昔にプレーした経験のある方、個人でも仲間を集めチーム単



位でも入会は可能ですので、お気軽にご連絡ください。

問合せ

事務局 矢部

☎ 080-5046-7351

杉戸町卓球連盟

会長 坂庭 正憲

杉戸町卓球連盟は、本連盟に賛同する諸団体を連合し、アマチュアスポーツとしての卓球を健全に普及発展させ、健康の増進を図ることを目的とした団体であり、中央卓球愛好会、泉卓球クラブ、西卓球クラブの3団体から成り立っています。旧杉戸町体育協会発足後、前記を目的に同協会に加入し現在に至っています。会員数は、ほぼ横ばいですが、高齢化が進み次世代にどのようなつなげていくかが問題になっています。

令和2・3年の2年間は杉戸町スポーツ大会（卓球の部）を新型コロナウイルスによりやむを得ず中止しなければなりませんでしたが、令和4年は、役員の皆様からいろいろ意見を頂き、事務局で素案を作成し、午前の部・午後の部と2回に分けて感染防止を徹底し実施することができました。中学3年生は、3年間で1回しか参加できませんでしたが、

が、中身の濃い試合が出来る、良い思い出になったと、確信しております。

各部の練習については、感染防止対策を徹底し少しずつですが、参加者も増えてきている状況です。

卓球連盟にとっても、良いことがありました。杉戸町が発行している広報すぎとの最終ページに各加盟団体のPRを掲載したところ、以前連盟に加入していて都合で退団された方が、それを見て再入会されました。地道な活動が身を引き、大変大きな効果があったと喜んでおります。

昨年の話題としては、世界卓球大会が中国で行われました。成績は、男子団体3位・女子団体が準優勝で、どちらも中国の高い壁を乗り越えることができませんでした。しかし、男子は張本選手が2勝しましたが、2対3で惜敗、女子にあつては、1勝もできず0対3で大敗でした。中国には、一本取れば勝てる試合が何度もありましたが、最後の一本を取ることが出来ず、逆転され負ける試合が多く、

力の差を感じさせられた大会でした。この大会では、最後まで諦めない姿勢を学んだ人も多いと思います。

新型コロナウイルスの規制も緩み、各市町のオープン大会も増えてきた中、杉戸町卓球連盟も練習に励み、各大会で上位の成績を狙えるよう、頑張っていく所存でございます。杉戸町卓球連盟は、新型コロナウイルス対策を強化し安全・安心な連盟大会・杉戸町スポーツ大会を開催したいと考えています。

その他、杉戸町卓球連盟の情報は、ホームページ（下記QRコード）を参照して頂き、今後の試合日程・過去の試合結果・各団体の練習日程・年間行事等さまざまな情報が掲載されています。定期的に更新されますので、ご利用ください。各練習場所は、左記のとおりです。ご自由に見学してください。

中央卓球愛好会 杉戸小学校
毎週日曜日 午後1時～5時
泉卓球クラブ 泉小学校
毎週日曜日 午後1時～5時

西卓球クラブ 会長 川内
毎週日曜日 午後2時～5時
会長 坂井

※各学校行事等により体育館が使用できない場合があります。



杉戸町バスケケットボール協会

会長 田中 憲一

杉戸町バスケケットボール協会は、今年35年目を迎えます。昨年は新型コロナウイルスの影響と広島中学校体育館改修工事で思うような活動ができませんでした。また杉戸町スポーツ大会（バスケケットボールの部）も新型コロナウイルスの影響で3年連続中止となりました。

新企画の杉戸町スポーツフェスティバル2022ではフリースローチャレンジブラスを担当し、多くの方にバスケットボールの楽しさを体験していただきました。来年は、新型コロナウイルスで活動が再開できることを願います。ハードですが楽しいバスケットを一緒にやってみませんか。

問合せ 田中 憲一

090-2930-0298



杉戸町 ソフトテニス連盟

会長 根岸 資治

私たちソフトテニス連盟は、スポーツ少年団の杉戸ジュニアと高野ジュニア、社会人を中心とした愛好会の3団体で構成されています。

愛好会は20代から80代までの幅広い年齢の方々が楽しめる環境ができています。親睦を図るため定期的に行われる

愛好会（通称・野菜の大会）は、老若男女が触れ合う機会になって皆が楽しみにしています。さて、ジュニアクラブでは楽しさや厳しさが感じられる指導を行い、心身共に健康な選手を育成しています。

今年も県予選を突破して関東大会や全国大会で活躍し、優秀な成績を残してくれました。特に前年は中止になった夏の全国大会に出場できた選手は、良い体験が出来て本当に良かったと思っています。中学校や高校でも多くの杉戸町のジュニア出身選手が活躍しています。ジュニア卒団後も活躍されることを期待して

います。

また、毎年参戦している埼玉県社会人クラブリーグでは、女子チームがリーグ優勝を成し遂げ、上位リーグへの昇格を果たしました。年々高くなるレベルのチームに勝利するために、また新たな一年が始まります。さらに技術・戦術を高める練習が求められます。

ソフトテニスは、シニア大会も盛んで、長く現役選手を続けられ、白球を思い切り叩く爽快感は抜群です。一緒に汗を流しましょう。

問合せ

杉戸ジュニア 大塚

☎0480-34-1540

高野ジュニア 藤森

☎0480-32-5701

愛好会 大野

☎090-8857-7226



杉戸町 硬式テニス協会

会長 関 義信

硬式テニスは身近なスポーツで愛好者が年々増えており、休日は良い練習日です。仲間からレベルアップのアドバイスを受けてポイントを掴めば益々熱中して楽しくなります。テニスは走って打込み、返球の連続で内臓、足腰が鍛えられ壮年の方も若人のような気迫が感じられます。

もしも老化を感じられたらスロージョギング、足腰の屈伸等で体力維持に努めましょう。昨年の夏は異常な高温が続き貴重な経験をしました。屋外のテニスは屋内と異なり温度差が大変でした。平常通りのテニスをしましたが体温と同じ気温の下で息が切れる思いでした。町内の放送では熱中症にならぬようにと...

昭和59年（1984年）に3つのクラブにより杉戸町硬式テニス協会が発足し、現在は13クラブ（男子162人、女子106人 計268人）となり今後も増える傾向で

す。年中行事として5月春季大会・9月杉戸町スポーツ大会・10月混合ダブルス大会・11月壮年大会の4大会を杉戸町立南テニスコートで開催し、特に5月と9月の大会参加者が多く早朝から薄暮まで熱戦が続きました。

杉戸陸上競技協会

会長 横田 勝利

当協会ではホームページ（左記QRコード）に、年間行事予定や大会募集、試合対戦表、更に結果も載せています。今後ともテニス大会の案内は広報すぎとにて行いますが、ホームページでも掲載しますので参考にして下さい。

杉戸陸上競技協会も35年目を迎えることができました。これもひとえに杉戸スポーツ協会をはじめ皆様のご支援と感謝し、会員150名で活動しております。

35年を振り返ると高校生が高校総体、国体等に多くの選手が出場し、やり投げで優勝するなど活躍が目立っています。最近では昌平高校の女子駅伝部が京都で12月に開催されている全国高校駅伝大会に出場するなどして頑張っています。



残念なのは、東の「杉戸駅伝」、西の「奥武蔵駅伝」と言われ県内外から多数のチームが参加するほど人気のあった杉戸駅伝大会が2005年（18回大会）で終了となったことです。現在は、杉戸町スポーツ大会（体協祭）のクロスカントリー（申告タイムレース）の種目中にミニ駅伝として実施しています。

3年ぶりに10月にクロスカントリー大会を開催したところ、久しぶりの大会で汗を流し同時にストレスを発散させ、笑顔で全選手がゴールし楽しい一日でした。出場選手からは、「開催されて良かった」との声が多く聞かれました。

ウオーキングやジョギングをする人も多くなっています。このように、生涯スポーツが叫ばれていることから杉戸陸協では、子どもから高齢の方まで楽しく走ったり歩いたり気楽に多くの方が参加できる大会を企画したいと思っています。

クロスカントリー（申告タイムレース）は、レース前に自分の完走タイムを申告しそれに近いタイムで走れることを競うレースで着順は関係なく子どもから高齢の方、性別に関係なく参加でき全員に優勝のチャンスがあります。種目は約1キロ、約2キロ、約3キロ、それとミニ駅伝（3人で1チーム、3人の合計タイムで競う。）の4種目です。ぜひ次回は参加してみませんか。

杉戸陸協所属の杉戸走友会は、毎月第2日曜日、第4日曜日に倉松公園と西近隣公園においてマラソン、ジョギングの練習会、記録会などを行っていますので興味をお持ちの方、気楽に参加してみ下さい。

問合せ

横田 ☎0480-34-0956
真山 ☎0480-34-6692

新型コロナウイルスに打ち勝って人生100歳に向かって体力をつけるため、最近健康のためにスポーツを始めたいと思っている人が多くなっているように見えます。それに伴い朝夕に限らずに古利根川や大島新田周辺での



**杉戸町
グラウンド・ゴルフ協会**
会長 小原 孝

グラウンド・ゴルフにトライしてみませんか

素晴らしい青空、緑の芝生でのグラウンド・ゴルフ場のヒトコマを紹介しましょう！

(1)初心者で高齢のプレーヤーが仲間と一緒に練習をしながら楽しんでいました。そのプレー中危険行動はしない、迷惑をかけない等配慮して、スタートマットの位置にスムーズに向かうよう誘導されていました。なんと気配りの出来る方々だと思いました。練習中とは云えプレー仲間のさりげない判断と行動を目にした私の心を癒してくれているなんて拍手、拍手。素敵な一日となりました。

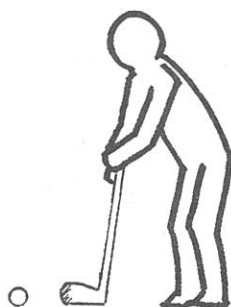
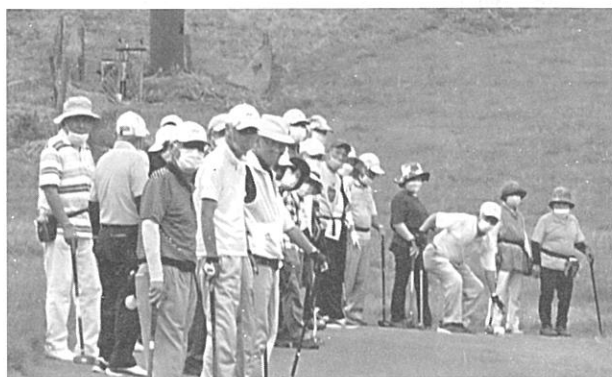
(2)力強く打ったスーパードリフトがホールポストに入って「ホールインワン。やったー！」、一方、「ホールポストに入って入ってお願い、あ、無常」、悲喜こもごもの歓声がグラウンド場に響き躍っていました。練習プ

レー後の休憩時間にはモグモグタイム、楽しいひと時を過ごしている様子を見て晴々とした気分になりました。

さて杉戸町グラウンド・ゴルフ協会では21団体が協会に登録、465名の会員がいる中、最高年齢者95才から最少61才の方まで多岐に亘って仲間がおりますが、高齢化が進んでいる昨今、地元の活動場所を確保し、会員がより参加出来る様配慮する必要があります。加齢に伴って低下する脳の活性化筋力トレーニング、簡単な計算や会話をすることにより脳が活性化されると云われているグラウンド・ゴルフを是非体験して下さい。近年コロナが流行する中でしたが、団体や会員が増えました。このことは地元密着型のスポーツとしてグラウンド・ゴルフが認められたものと感謝しています。杉戸町グラウンド・ゴルフ協会では年1〜2回県外研修を実施して更に会員の親睦を図っています。掲載の写真は尾瀬グラウンド・ゴルフ場でのものです。ぜひ興味、関心をお持ち

ちの方々が入会することを協会会員一同お待ち申し上げます。

問合せ 小原 孝
☎0480-33-0962



杉 戸 町 ス ポ ー ツ 協 会 表 彰 者

< 令和 3 年度 の 功 労 者 及 び 優 秀 選 手 を 令 和 4 年 度 総 会 に て 表 彰 >

(敬 称 略 順 不 同)

受賞項目	氏 名	所属・学校	大会 名 等	結果
町 功 労 賞	吉 原 教 子	空 手 道 連 盟	永年スポーツ協会に貢献 功労賞	
〃	坂 庭 正 憲	卓 球 連 盟	〃	
〃	中 里 宜 夫	〃	〃	
〃	鈴 木 成 一	ソ フ ト ボ ー ル 協 会	〃	
〃	渡 辺 克 巳	〃	〃	
町 優 秀 選 手	仲 西 梨 花	陸 上 競 技 協 会 (昌 平 高 等 学 校)	女子第33回全国高等学校駅伝競走大会埼玉県予選会	2位
〃	木 下 紗 那	〃	〃	〃
〃	丹 羽 遥 奈	〃	〃	〃
〃	鈴 木 陽 渚	〃	〃	〃
〃	清 水 杏 夏	〃	〃	〃
〃	木 原 祐 翔	ソ フ ト テ ニ ス 連 盟 (杉 戸 ジ ュ ニ ア テ ニ ス)	第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 団体戦 男子の部	優勝
〃			第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 個人戦 高学年男子の部	3位
〃			埼玉県ジュニア研修大会団体戦 男子の部	優勝
〃			全国小学生ソフトテニス大会埼玉県予選会 男子の部	優勝
〃			第10回埼玉県シングルス選手権大会 6年生男子の部	優勝
〃			全日本小学生ソフトテニス選手権大会埼玉県予選会 男子の部	2位
〃	小 沼 優 希	〃	第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 団体戦 男子の部	優勝
〃			第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 個人戦 高学年男子の部	3位
〃			埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 男子の部	優勝
〃			全国小学生ソフトテニス大会埼玉県予選会 男子の部	優勝
〃			第10回埼玉県シングルス選手権大会 6年生男子の部	2位
〃			全日本小学生ソフトテニス選手権大会埼玉県予選会 男子の部	2位
〃	森 島 悠 里	〃	第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 団体戦 男子の部	2位
〃			埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 男子の部	優勝
〃	村 田 優 斗	〃	第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 団体戦 男子の部	2位
〃			埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 男子の部	優勝
〃			第10回埼玉県シングルス選手権大会 5年生以下男子の部	優勝
〃	吉 田 怜 央	〃	埼玉県ジュニア(個人)研修大会 4年生以下男子の部	2位
〃			全国小学生ソフトテニス大会 埼玉県予選会代替大会 4年生以下の部	2位
〃	吉 田 零	〃	第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 団体戦 女子の部	優勝
〃			第10回埼玉県シングルス選手権大会 6年生女子の部	2位
〃			全日本小学生ソフトテニス選手権大会埼玉県予選会 女子の部	3位
〃			埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 女子の部	3位
〃	松 村 佳 紀	〃	第40回関東小学生ソフトテニス選手権大会 団体戦 女子の部	優勝
〃			埼玉県ジュニア研修大会 団体戦	3位
〃			全日本小学生ソフトテニス選手権大会埼玉県予選会 女子の部	3位
〃	加 藤 優 奈	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 女子の部	3位
〃			埼玉県ジュニア(個人)研修大会 高学年 女子の部	3位
〃	内 田 優 菜	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 女子の部	3位
〃			第10回埼玉県シングルス選手権大会 5年生以下女子の部	3位
〃			埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 男子の部	優勝
〃	川 崎 隆 翔	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 男子の部	優勝
〃	谷 田 結 基	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 男子の部	優勝
〃	中 村 柁 太	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 男子の部	優勝
〃	中 村 美 優	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 女子の部	3位
〃	西 川 真 由	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 女子の部	3位
〃	加 藤 純 奈	〃	埼玉県ジュニア研修大会 団体戦 女子の部	3位
〃	荒 川 雅 俊	空 手 道 連 盟	第34回県民総合体育大会空手道競技 組手 成年男子軽量級	優勝
〃	秋 間 樹 大	〃	第34回県民総合体育大会空手道競技 組手 成年男子重量級	3位
〃	須 釜 蓮	〃	第34回県民総合体育大会空手道競技 組手 小学2年女子	3位

第47回 スポーツ大会(体協祭)の結果!!

種目	開催日	会場	入賞者(個人及び団体)
ソフトテニス	9月4日	南テニスコート	高学年女子の部 優勝 内田・原田 優準優勝 櫻井・高品 3位 菅野・佐藤 高学年男子の部 優勝 森島・村田 優準優勝 星・別府 3位 久保田・石塚 吉田・真中 低学年女子の部 優勝 林・高久 優準優勝 菅谷・平沼 3位 菅田・高橋 森島・高橋 低学年男子の部 優勝 都竹・宇田 優準優勝 青木・小沼 3位 菅井・田中 島山
サッカー(一般)	9月各日曜日	深輪産業団地グラウンド	優勝 杉戸サッカークラブOB 第3位 ZZZ(ズィーズィーズ) 準優勝 FCマロン
ソフトボール	9月4日	西仮グラウンド	優勝 フレッシュクラブ 2位 高野台西 3位 高野台ファイターズ 4位 高野台スターズ
グラウンド・ゴルフ	9月10日	国体記念運動公園	男子の部 優勝 喜沢 清 72打 優準優勝 小原 孝 75打 第3位 加藤 東吾 75打 女子の部 優勝 窪田勢津子 73打 優準優勝 園田由貴子 74打 小林美恵子 76打
硬式テニス(ダブルス)	9月11日	南テニスコート	男子の部 優勝 野原 宏・小林 雄一 3位 春日 敏雄・杉本 一夫 優準優勝 藤城 雄一・藤城 俊 3位 大川 翼・佐藤 正幸 コンソレ優勝 勝 信田 覚・伊藤 利一 女子の部 優勝 大川 直美・山下 希代子 3位 板垣かおり・大橋 悦子 優準優勝 安部 啓子・小野寺 克枝 3位 三戸部 雅子・中村 晴子 コンソレ優勝 田中 優子(春日部市)・田中 優子(越谷市)
卓球	9月18日	杉戸小学校	一般男子(一部) 1位 劉 偉州 2位 村中龍之介 3位 植木 史雄 3位 水瀬 史雄 シニア男子(一部) 1位 坂井 敏次 2位 芝崎 賢次 3位 高橋 孝彦 3位 島岡 泰彦 一般男子(二部) 1位 鈴木 定平 2位 中里 宜美 3位 内田 保美 3位 松田 吉邦 シニア男子(二部) 1位 藤沼 実 2位 浅井 幸 3位 煙山 達男 3位 野本 達男 一般女子(一部) 1位 折原 乃佳 2位 鈴木 里菜 3位 今野 ゆかり 3位 小山 佳子 中学男子(一部) 1位 増田 墨斗 2位 丸山 颯斗 3位 林 優羽 3位 杉山 悠人 一般女子(二部) 1位 鈴木 由貴子 2位 竹之内 結菜 3位 宮下 珠瑛 3位 竹元 美結 中学男子(二部) 1位 立木 佑磨 2位 増田 泰樂 3位 寛田 風太
少年野球	9月19日・23日	西仮グラウンド	優勝 杉戸西ドラゴンズ 準優勝 杉戸レッドスターズ
剣道	9月19日	高野台小学校体育館	基本の部 1位 中内しずく 2位 横張 海斗 3位 潮 杏理 3位 齋藤 理久 小学生1・2年生の部 1位 松村 香奈 2位 中阪 瑠乃 3位 佐々木 裕之 3位 宮崎 乃之 小学生3・4年生の部 1位 渡邊 彩葉 2位 落合 海輝 3位 柿沼 優希 3位 中内 宗士郎 小学生5・6年生の部 1位 大園 岳翔 2位 落合 大塚 3位 大塚 来暉 中学生女子の部 1位 愛澄 太田 2位 関 葉子 3位 西垣 結衣 3位 浅見 咲来 中学生男子の部 1位 佐瀬 優太 2位 倉持 弥羽 3位 高木 宗像 3位 高木 航慈 一般男子の部(50歳以上) 1位 川上 満 2位 大山 光洋 3位 野中 八郎 3位 野脇 智
サッカー(少年)	9月25日	西仮グラウンド	Aブロック 優勝 倉松サッカー 優準優勝 西サッカー Cブロック 倉松サッカー Eブロック 諏訪サッカー Fブロック 諏訪サッカー
陸上(クロスカントリー)	10月16日	倉松公園	個人1キロの部 1位 酒井嘉雄 2位 横田勝利 個人2キロの部 1位 蛭間雅人 2位 千葉亮介 個人3キロの部 1位 渡部博昭 2位 木村 真山 3位 真山伸一 ミニ駅伝(3キロ)の部 1位 木村 勤 2位 千葉亮介 3位 山口秀一 酒井嘉雄 大橋光司 蛭間雅人 渡部博昭 横田勝利 真山伸一
空手	10月23日	高野台小学校体育館	形部の部 優勝 勝 玉津 優準優勝 桑原 間立川 敢闘賞 立川 陽大 小学1年男子 優勝 能登野 陽彩 優準優勝 田村 優大 高橋 旺大 小学2年男子 優勝 小林 澄史 優準優勝 小島 翔 後藤 彩駆 小学3年男子 優勝 白井 祐成 優準優勝 金子 瑞希 中村 隆輝 中村 玉池 菅沼 善太郎 児池 善大朗 木村 善大朗 小学4年男子 優勝 玉津 慶多 優準優勝 小林 慶希 小島 勇仁 小林 大心 小学5年男子 優勝 高垣 中平 3位 高垣 平三好 小学6年男子 優勝 登井 光輝 西村 皓志 西村 碧海 小学1年女子 優勝 桑原 莉衣 優準優勝 萩原 舞 賀 舞 小学2年女子 優勝 小林 愛奈 優準優勝 本橋 梓 結愛 松井 結愛 小学3年女子 優勝 佐藤 須奈 優準優勝 益平 明生 杉木 芽生 小学4年女子 優勝 西村 莉希 優準優勝 矢島 希 桑田 優菜 小学5年女子 優勝 齋藤 梅澤 楓 サラ 小学6年女子 優勝 渡辺 梨央 中学1年男子 優勝 松本 一ハル 優準優勝 梅澤 齋藤 相澤 虎太郎 中学2・3年男子 優勝 興石 貴太 高校生女子 優勝 岸 彩羽 優準優勝 大屋 晴季 山崎 洗里 花 吉岡 高校生男子 優勝 野斗 煌斗 優準優勝 香野 煌斗 河原 亮 倉持 善 小学1年男子 優勝 勝 友都 優準優勝 桑原 陸 友都 小学2年男子 優勝 関 能登 優準優勝 能登 陽彩 田村 泰生 小学3年男子 優勝 白石 慶多 優準優勝 石谷 寛史 小島 涼介 小学4年男子 優勝 小村 善大 優準優勝 金子 大維 中村 陽人 中村 音玖 中村 清水 小沼 健太 清水 優 小学5年男子 優勝 玉津 慶多 優準優勝 小林 加井 小島 一希 小学6年男子 優勝 高垣 平三好 西村 碧海 石川 澄志 小学1年女子 優勝 渡邊 璃子 華來 小学2年女子 優勝 荻野 詩紗 優準優勝 山口 紗央 結愛 松井 結愛 小学3年女子 優勝 須金 蓮花 優準優勝 佐藤 愛花 松本 心香 福島 采香 小学4年女子 優勝 西村 楓 莉緒 小学5年女子 優勝 福沢 心結 梅澤 サラ 小学6年女子 優勝 金子 夏希 新井 綾乃 中学1年男子 優勝 松本 謙大 優準優勝 井金 悟 相澤 虎太郎 中学2・3年男子 優勝 興石 貴太 中学生女子 優勝 廣瀬 結乃 渡邊 結乃 高校生男子 優勝 大館 一航 優準優勝 木村 多聞 中田 裕大 高校生女子 優勝 山崎 桜子 大屋 晴季 シニア男子 優勝 山元 朗弘 優準優勝 小林 伸智 渡部 智博
バレーボール	11月20日	杉戸小学校体育館	優勝 金子組 準優勝 ALIVE 3位 GREED 4位 FRODO

令和 3 ・ 4 年度 杉戸町スポーツ協会役員一覧 (敬称略・順不同)

〈会 長〉

No.	氏 名	所 属 団 体
1	古谷 松雄	

〈副 会 長〉

1	田沼 統子	
2	大塚 国夫	スポーツ少年団本部

〈理 事 長〉

1	浅井 幸	卓球連盟
---	------	------

〈副理事長〉

1	田中 憲一	バスケットボール協会
---	-------	------------

総 務 会		正 副 会 長
		正 副 理 事 長
		3 委 員 会 委 員 長

〈理 事〉

事業委員会	◎	1	太田 千春	ママさんバレーボール連盟
	○	2	根岸 資治	ソフトテニス連盟
		3	須永 幸彦	サッカー協会
		4	小山 朋夫	グラウンド・ゴルフ協会
指導育成委員会	◎	1	飯山 茂	空手道連盟
	○	2	速水 雅幸	野球連盟
		3	真山 伸一	陸上競技協会
		4	石塚 英行	剣道連盟
		5	関 義信	硬式テニス協会
広報委員会	◎	1	藤沼 武則	スキー連盟
	○	2	渡邊 克巳	ソフトボール協会
		3	齊田 壮市	スポーツ少年団

(◎印は委員長、○印は副委員長)

〈監 事〉

1	関根 忠勝	
2	古谷 恒夫	

〈顧 問〉

1	小川 伊七	
---	-------	--

〈評 議 員〉

No.	氏 名	所 属 団 体
1	鈴木 成一	ソフトボール協会
2	鈴木 広勝	ソフトボール協会
3	杉原 正美	野球連盟
4	国井 実	野球連盟
5	柿沼 幸美	ママさんバレーボール連盟
6	加我みどり	ママさんバレーボール連盟
7	伊藤 文男	卓球連盟
8	中里 宣夫	卓球連盟
9	川村 雄大	剣道連盟
10	前野 辰夫	剣道連盟
11	岩崎 敬方	空手道連盟
12	吉原 教子	空手道連盟
13	久保田茂夫	ソフトテニス連盟
14	向井野裕城	ソフトテニス連盟
15	清水 洋	サッカー協会
16	市村悠一郎	サッカー協会
17	宇賀 博之	硬式テニス協会
18	須藤 悦子	硬式テニス協会
19	鈴木 勲	スキー連盟
20	米山 知宏	スキー連盟
21	横田 勝利	陸上競技協会
22	長谷川勝雄	陸上競技協会
23	吉田 教順	スポーツ少年団本部
24	佐瀬 力	スポーツ少年団本部
25	渡部 裕司	バスケットボール協会
26	加藤 大輔	バスケットボール協会
27	笥田 明	グラウンド・ゴルフ協会
28	須藤 益夫	グラウンド・ゴルフ協会

〈幹 事〉

1	小林登志子	
2	萩原 勝典	